

## 第6回教育委員会（定例）議事録

### 1 開 会

令和3年8月18日（水） 14時00分

### 2 場 所

市役所本庁舎4階 議員協議会室

### 3 会議に出席した委員

教育長 丹後 政俊

委 員 西田 正志

委 員 中村 貴子

委 員 垣内 敬造

委 員 山本 恭子

### 4 会議に出席した職員

部長（学校教育担当） 稲山 悟

部長（生涯教育担当） 小林 康弘

次 長 西羅 忠和

次長兼教育研究所長 酒井 宏

教育総務課長 中野 悟

学 事 課 長 山本 毅

学校教育課長 岸田 幸雄

東部学校給食センター所長 酒井 直隆

西部学校給食センター所長 石田 哲也

こども未来課長 竹見 朋子

社会教育課長 谷掛 昭二

文化財課係長 植木 友

中央図書館長 小島 理三

田園交響ホール館長 小林 純一

総 務 課 長 河南 剛

中央公民館長 大路 和浩

教育総務課係長 田中 真紀子

### 5 議事日程及び議案

別紙の通り

### 6 開会宣言

14時02分

### 7 会 期

（自）令和3年8月18日

（至）令和3年8月18日 1日間

### 8 会議録署名委員名簿

西田 正志 委員

### 9 閉 会

15時09分

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 丹後教育長<br>全委員<br>丹後教育長 | 日程第 1、令和 3 年度第 5 回会議録の報告、承認について意見等はないか。<br>異議なし。<br>全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。   |
| 丹後教育長                 | 日程第 2、会議録署名委員は 1 番西田委員とする。   |
| 丹後教育長                 | 日程第 3、会期は令和 3 年 8 月 18 日、本日 1 日間とする。   |
| 丹後教育長                 | 日程第 4、議案に移る。議案第 10 号の「令和 3 年度 9 月補正予算案を市長に提案することについて」教育総務課説明を求める。  |
| 中野課長                  | 《議案書に基づき説明》  |
| 中村委員                  | 多紀児童クラブ 1 室移設について計上されているが、こどものおしろ移設に伴う経費はどうか。  |
| 竹見課長                  | こどものおしろは、備品は整っており、移設にあたっては消耗品のみであったため計上していない。  |
| 中村委員<br>植木係長          | 高城山整備費は令和 2 年度も計上していたが、今回の要求との違いは何か。<br>今回の計上は、登山道入口付近の碎石舗装の整備と樹木伐採行うためである。登山道入口付近が暗く、湿り気が多いとの要望があったために実施する。   |
| 中村委員                  | できれば昨年度大河ドラマ放映前に行ってほしかった。  |
| 小島館長                  | 市史編さん補助員の期末手当増は、補助員の増加に伴う手当の増か。  |
| 西田委員                  | 会計年度任用職員の人数増ではなく、現状職員の精査分である。  |
| 小林館長                  | 田園交響ホールの舞台音響入力系設備リース料減について、補足説明を求める。<br>当初は 4 月から 5 年、60 回リースを予定していたが、7 月からの契約開始となった。しかし契約上の関係でリース料の支払い開始が、工事終了後の 11 月からとなる。契約自体は、60 ヶ月を超えることができないため、リース支払い回数は 56 回となる。よって 4 月から 10 月分については今回支払う必要がなくなったため減額する。                        |
| 垣内委員<br>西羅次長          | 市内 3 高校活動支援補助金の活用方法について説明を求める。<br>今まで中高連携でいろいろな事業に取り組んできたが、高校も主体となって自分たちができることを工夫して取り組んでもらう機会をつくるための交付金である。各校の具体的な計画は予算可決後に提出されることになるが、例えば、JR 駅の自由通路に市内 3 高校紹介コーナーを設け、地元の中学生に対して高校の魅力を伝えるにはどのような紙面を掲示すると良いのかなど、各校が自主的に考え取り組むことを想定している。 |
| 丹後教育長                 | 議案第 10 号「令和 3 年度 9 月補正予算案を市長に提案することについて」採決をする。異議はないか。  |

|              |   |
|--------------|---|
| 全委員<br>丹後教育長 | 異議なし。<br>全員賛成で、議案第 10 号の「令和 3 年度 9 月補正予算案を市長に提案することについて」原案どおり可決する。  |
| 丹後教育長        | 日程第 5、報告事項に移る。報告 1「後援名義の承認について」教育総務課報告を求める。   |
| 田中係長         | 《議案書に基づき報告》   |
| 山本委員         | 3 番目の後援名義について、「一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン」とは、どういう団体なのか説明をお願いする。  |
| 田中係長         | カンボジアの地雷被害の現状を改善すべく、地雷撤去支援や地雷被害者支援、地雷原で教育を奪われてきた子どもたちへの小中学校建設および運営などを実施している創立 24 年目の団体である。「日本国際連合協会会長賞」や「福岡市市民国際貢献賞」、「福岡市教育委員会表彰」などを受賞し、教育出版の倫理、政治・経済など教科書にも掲載される団体である。 |
| 丹後教育長        | 報告 2「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課報告を求める。  |
| 岸田課長         | 《議案書に基づき報告》   |
| 中村委員         | 休日の校舎への立ち入りについて、今後は校舎の管理やルールづくりを徹底してほしい。何か起こってからでは遅いので対応をお願いする。   |
| 岸田課長         | ご指摘のとおり、休日に生徒が教職員の許可を得ずに校舎内に入れた状況は、不審者が校舎内に侵入できる不適切な状態と言えるので、学校にも引き続き指導していく。  |
| 丹後教育長        | 報告 3「いじめ問題に係るアンケート集計結果(1 学期)について」学校教育課報告を求める。   |
| 岸田課長         | 《議案書に基づき報告》   |
| 西田委員         | 総括のなかでは、「昨年同時期と比べ、(1)「いじめられたことがある」と回答した割合はほぼ全学年で同程度である」と書いてあるが、7 頁のアンケート結果の「いじめられたことがある」の実数を集計すると、全小中学生で 242 件「ある」と回答、令和 2 年度は 192 件で 50 件増えているが、この総括の認識でよいのか。          |
| 岸田課長         | ご指摘のとおり、%を学年別でみると数%の違いで同程度としているが、1%の違いを人数に換算すると 3 名、4 名となり、これが 3%となると 10 名の   |

|      |   |
|------|---|
| 西田委員 | <p>違いが出てくる。%の値と同時に実人数をカウントする必要がある。今後それも合わせて分析する。</p> <p>今後そのように願います。</p> <p>(2)「今もいじめられている。」について、回答した児童生徒に対して学校はどのように対応しているのか。また教育委員会はそのことについて学校にどのように指導しているのか。</p>   |
| 岸田課長 | <p>まず、アンケートを取った際には、誰が回答したかを把握してすぐに聞き取りをする。聞き取りを行った時点で状況に応じてすぐに指導していく。これをいじめと認知しない場合や過去の事例の場合もあるので、内容の詳細を聞き取り、迅速に対応するようにしている。教育委員会は学校にそのように対応するように指導している。</p>  |
| 西田委員 | <p>大変な労力はあるが、きめ細かな対応を求める。</p> <p>コロナウイルスに関するいじめが昨年度は1件あったが、今年度はどうか。</p>   |
| 岸田課長 | <p>今のところ、そういう事例の報告はない。</p>  |
| 中村委員 | <p>いじめはどの学校、学級にも起こりうる認識のもと、子どもたちにも自分で立ち上がる強さを持ってほしい。また最近では敏感になりすぎて平均台の上を歩いているような環境にも見える。周囲の大人も大らかに接する必要があるのではないかと感じた。</p>   |
| 山本委員 | <p>毎年いじめに関する細やかなアンケート調査に感謝している。いじめ発見のきっかけが小中ともに保護者からというのが多く、保護者と学校の信頼関係や連携ができているとアンケートから感じた。学校はいじめに関して取り組んでいるが、いじめは人権に関わることであり、家庭内でもしっかりと子どもと常に話し合っていないといけないのではないかと感じた。コロナ禍で難しいが、PTAなどでいじめや人権について、短時間であっても話し合いができたらと思う。</p>   |
| 岸田課長 | <p>保護者との信頼関係や連携は大切だと思う。コロナ禍でPTAの研修も開催しにくいですが、各学校でPTAの人権講演会など取り組まれているので、その中でいじめの啓発などを取り上げるようにしていきたい。</p>   |
| 垣内委員 | <p>10頁、「6 いじめを見たときの対応について」のグラフを見て、総括では、「昨年度から大きな変化は見られない」ということであるが、昨年度と比べての変化はないかもしれないが、小学校1年生から中学3年生になるにつれて、「何もしない」という人が若干増えている。「何かする」という人は学年が高くなるにつれ減っている。これは、あまり人と関わらないほうが良いという損得勘定の表れかもしれない。長年いじめに対する教育を続けてきたにも関わらず、人権感覚や人権教育の効果が高学年になるにつれて薄れているようにも読み取れるので、その点について対応を願う。</p> |
| 岸田課長 | <p>ご指摘のとおりである。何もしない生徒が数%とはいえ一定数いる。いじめ解決に向けて取り組むようにしたい。学校では、学年集会などその都度啓発をしているところであるが、いじめ問題解決に向けて何か行動が起こせるようにつなげていく。</p>  |

|       |  |
|-------|--|
| 丹後教育長 | いじめは、命に関わる事案に結び付く場合もある。早期発見早期対応を意識してきっちりしていかなければならない。相談できる人が担任、保護者、家族であればもちろん良いが、担任以外の教員であったり誰か身近に相談できる大人がいることが重要である。一人で抱えこまないというアナウンスを子どもたちに何回もしていく必要がある。命を守る教育を一番に思っている。しっかりと対応していく。今後も色々な意見をお願いしたい。 |
| 丹後教育長 | 報告4「令和3年度8月小・中・特別支援学校定例校長会について」学校教育課報告を求める。  |
| 岸田課長  | 《議案書に基づき報告》  |
| 中村委員  | 「通学路安全点検について」に関連して、最近、予想外の豪雨災害が発生している。今田保育園、今田幼稚園について危ない区域であると報告を受けているが、どのような対応をしているか、またどのような計画があるのか。  |
| 竹見課長  | 今田保育園は土砂災害警戒区域、今田幼稚園は特別警戒区域に一部かかった立地である。<br>教育委員会事務局としては、長寿命化計画の修繕と合わせ、園児の推移等から今後の見通しも考えながら、どのように建物を維持するのか、あるいは新施設を建設するのか等協議を進めて行く。  |
| 丹後教育長 | 報告5「令和3年度第1学期学校給食異物混入状況について」学校給食センター報告を求める。  |
| 酒井所長  | 《議案書に基づき報告》  |
| 中村委員  | 児童からの報告による発見は大変残念に思う。また、混入箇所が不明というのも残念に思う。今年度はレシピ本の完成も控えているし、全国学校給食甲子園優勝実績の信頼を欠かないよう努めていただきたい。   |
| 酒井所長  | 2学期以降引き続いて給食センター内はもちろん、学校内での異物混入も含めて、センター職員、教職員とも気を付けていく。  |
| 西田委員  | 今回の異物混入2件について、命に直接関わったり、怪我をするといったものではなかったと思うが、異物混入発見時の学校対応について補足説明を求める。  |
| 酒井所長  | 2件とも児童が発見し、学校からすぐ連絡があり、学校へ行き実物を確認して回収した。   |
| 西田委員  | 10年ほど前、牛乳に鉄粉が入ったことがあった。その時の納入業者の危機管理意識の低さが2回の混入を招いた。それ以来、業者の意識も高まったことを理解している。引き続き高い意識をもって取り組むようお願いする。  |
| 酒井所長  | 今回のようなアルミ異物混入は想定外であったが、東西両センター情報を  |

|       |  |
|-------|--|
|       | 共有し、危ない箇所などは事前に察知して防止していきたい。   |
| 丹後教育長 | 報告 6「防災学校給食提供事業について」学校給食センター報告を求める。  |
| 石田所長  | 《議案書に基づき報告》  |
| 山本委員  | 今回、防災学校給食ということで、備蓄用の災害時のパンだが、災害時に出るパンは缶に入っているものが多い。そのようなかたちで子どもたちに提供してもらえるのか。  |
| 酒井所長  | また、防災給食の提供は今回が初めてなのか。<br>パンは、5年間の賞味期間のある柔らかいアルミ箔の袋に入ったパンである。今回の給食では、昔ながらの堅い乾パンも併せて提供する。これは缶ではなくアルミ箔の袋に入っている。   |
| 山本委員  | こういった形での防災を想定した学校給食は、今回が初めてである。<br>本市の給食センターの方々には、子どもたちのために、美味しい給食だけではなく、教育的な面も考慮して取り組んでいただき、本当に感謝している。異物混入についても、これだけの量を調理するなか2件というのはすごいことだと思う。長い歴史の中でいろいろな対策を積んできたうえで、異物混入を防いできたのだと思う。これからも子どもたちのために、美味しい給食をお願いします。 |
| 西田委員  | 停電時、給食センターの機能はどうなるのか。  |
| 酒井所長  | 停電時、両給食センターともに大規模な発電設備を持っていないため、運営はできなくなる。   |
| 西田委員  | 停電は、台風発生時や電柱付け替えでも発生することがあり、発生すると色々な弊害が出てくる。今これだけ自然災害が多いと、いつどうなるのかわからない。停電も想定し、その対応も今後考えていかなければならないのではないか。   |
| 酒井所長  | 両給食センターでは、備蓄用カレーを2日分保管しており、1日、2日対応できる体制はとっている。牛乳は丹波市から納入なので停電になると納入は困難である。いただいたご意見について今後検討する。  |
| 丹後教育長 | 報告 7「丹波篠山市文化財保存活用地域計画の文化庁長官認定について」文化財課報告を求める。  |
| 植木係長  | 《議案書に基づき報告》  |
| 垣内委員  | この度の認定は、全国で何例あるのか。   |
| 植木係長  | 詳細は持ち合わせていないが、6件程度であったと思う。   |
| 垣内委員  | 誇らしいことだと思う。自信をもって進めていってほしい。  |
| 西田委員  | 以前も説明あったが、参考資料2頁、「4つの特徴にまとめなおした」と  |

|              |   |
|--------------|---|
| 植木係長         | <p>ある、どのようなものか、再度説明を求める。</p> <p>丹波篠山市に残っている文化遺産を4つの特徴にまとめた。資料にはないが、生活・生業に関わる文化、みち（街道）の交流に関わる文化、都市と田園がつくりあげてきた風景の歴史文化、民間信仰と年中行事の特徴の4つに分けている。</p>   |
| 丹後教育長        | <p>報告8「令和3年度丹波篠山市高齢者大学の実施について」中央公民館報告を求める。</p>  |
| 大路館長         | <p>《議案書に基づき報告》</p>  |
| 中村委員<br>大路館長 | <p>開講式がなくなるということは、実質4回となるのか。</p> <p>3学園が該当するが、1回講座義が少なくなる。一般教養講座については、どこの学園に参加してもらっても構わない。また、開講式ではビデオ撮影をした講演を予定しているが、中止で受講できなかった方やもう一度聞きたい方を対象に四季の森生涯学習センター多目的ホールなどで見ていただく機会を持つことも考えたい。</p>   |
| 中村委員<br>大路館長 | <p>受講料は変更ないのか。</p> <p>例年は10回2,000円の料金だが、今年度については、運営委員での協議の結果、5回1,000円となった。緊急事態宣言の発令等で中止になったとしても、返金はしないことに決まった。</p>  |
| 中村委員         | <p>できるだけ全園同回数開催がされると良いと思う。</p>  |
| 丹後教育長        | <p>報告9「教育長報告」について報告する。</p> <p>篠山鳳鳴高校、篠山産業高校、篠山東雲高校のオープンハイスクールに参加した。同日開催であったり、他の行事があったためしっかりと見ることはできなかったが、どの学校も充実したオープンハイスクールで子どもや保護者も精力的に参加されていた。篠山鳳鳴高校では、特に生徒数の減少が心配されている。とても多かったわけではないが、金曜日と土曜日の2日間開催され、内容については生徒を中心にしっかりとプレゼンしていた。模擬授業もどこに対しても引けを取らない素晴らしい出来であった。来年度の入学者数の増加は、油断はできないが非常に期待できるのではないかと考えている。</p> <p>8月14日に今田地区の登り窯で行われたパラリンピックの採火式に出席した。その翌日、8月15日のオンラインデカンショでは、その採火式の火が三の丸広場まで運ばれ、その火を迎えるところに立ち会った。2日とも天候が危ぶまれるなか、特に8月14日は警報も出ており、採火式も中止かと思っていたが、十分に安全を確保しながら、内容を変え、最小限の中で工夫して行われた。採火ができなければ、丹波篠山市から開催都市東京へ火を繋げて行けず、延期もできないためである。8月15日のオンラインデカンショについては、各地域からデカンショ踊りが繋がってくるということが計画されてい</p> |

|       |  |
|-------|--|
| 丹後教育長 | <p>たが、午前中の警報で中止された。しかし、今田地区からのパラリンピックの火は、踊り次いで篠山城跡まで届いた。その頃には、天気も持ち直し警報も解除されていた。普通なら全て中止にしてしまいそうだが、これだけに限らず、どの行事にも言えることだが、中止することは簡単だが何とか工夫をして次に繋げていく、そういう工夫が見られた。その工夫の中にも、現場を知っている人が適切な判断をしていた。現場の力、現場を知っている人の力は、非常に素晴らしいと思った。これからもそのような力を結集して、教育委員会も前に進めていきたい。</p> <p>以上で教育長の報告とする。</p> <p>それでは、第6回定例教育委員会をこれで終了する。</p> |
|-------|--|